

Tropical wooden construction

Architecture and life styles of
Insular Southeast Asia

Press Release

南の島の 家づくり

東南アジア
島嶼部の
建築と生活



関連記事掲載・番組等でのご紹介のお願い

このたび竹中大工道具館では、2018年10月6日から12月2日まで、企画展「南の島の家づくりー東南アジア島嶼部の建築と生活ー」を開催いたします。

世界にはいろいろな木造建築があり、地域ごとにその特性が現れた形となっています。気候や材料などの環境特性ばかりではなく、人が生活するためにつちかわれた信仰や対外的な交流など、さまざまな要因が建築に反映されています。本展覧会では、東南アジア島嶼部と呼ばれる大小さまざまな島からなる地域に焦点をあて、その建築と生活文化について紹介します。なかでもこの地域の主要な民族であるオーストロネシア語族（フィリピン、インドネシア、マレーシアとベトナムにまたがる）は、アニミズムを基層としながら、隣接する中国やインド、そしてイスラムの影響を受け、植民地時代以降はヨーロッパからの影響も入り、民族ごとにユニークで多様な建築世界を形づくってきました。

そんな地域の建築をつくる技術とはどんなものなのでしょう。道具を携えて渡来した職人もいれば、そもそも職人そのものが存在しないところもあります。身近な生活圏から得られる材料を熟知し、使いこなす知恵。多様な文化が混在する東南アジアの世界を、建築技術の側面から垣間見てみたいと思います。

つきましては、是非貴媒体にて本展覧会をご紹介いただきますようお願い申し上げます。

なお、広報用に提供写真をご用意いたしております。読者・視聴者プレゼントにつきましても画像借用申込書にてお申し込みを受け付けております。ご希望の場合は、別紙の画像借用申込書にてご請求ください。その他、ご不明な点や資料等のご要望、撮影などの取材を希望される場合は、下記広報事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ>

「南の島の家づくり」展広報事務局（竹中大工道具館内）

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713 E-mail：minaminoshima@doujukan.jp



展覧会概要

| | |
|---------|---|
| 名 称 | 南の島の家づくり—東南アジア島嶼部の建築と生活— |
| 会 期 | 2018年10月6日(土)～12月2日(日) 竹中大工道具館 1F ホール 〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1 TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713 |
| 開 館 時 間 | 9：30～16：30（入館は16：00まで） |
| 入 館 料 | 一般500円、大高生300円、中学生以下無料、65歳以上の方200円 ※常設展観覧料含む |
| 主 催 | 竹中大工道具館 |
| 後 援 | 在大阪インドネシア共和国総領事館 |
| 協 力 | 国立民族学博物館 |
| 監 修 | 佐藤浩司（国立民族学博物館准教授） |
| お問い合わせ | 「南の島の家づくり」展広報事務局 |
| 公式サイト | https://www.doujukan.jp/special_exhibition/minaminoshima_kobe |

◎展覧会の見どころ <展示品数 約200点>

◆どんな建物があるの？

東南アジア島嶼部の建築と生活について、現在、インドネシアやフィリピンの島々に居住するオーストロネシア語族の視点から解説します。

◆スンバの家を再現する

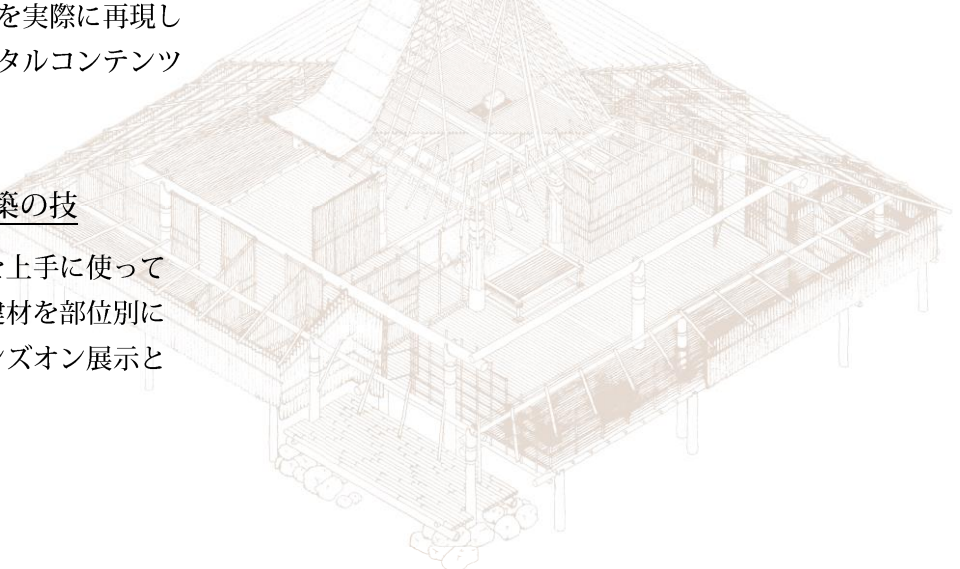
インドネシアのスンバ島東北端に位置するウング村は、地産地消の材を活用し、相互扶助で建物を造る数少ない処です。家の一部を実際に再現して体験できる空間をつくり、デジタルコンテンツとともにその工程を紹介します。

◆地産地消の素材を活かす建築の技

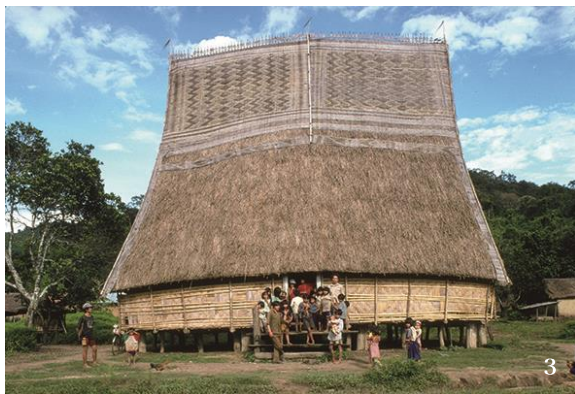
インドネシアでは、身近な素材を上手に使うて家を立てます。実際に使われる建材を部位別に小屋を造って展示し、映像やハンズオン展示と合せて解説します。

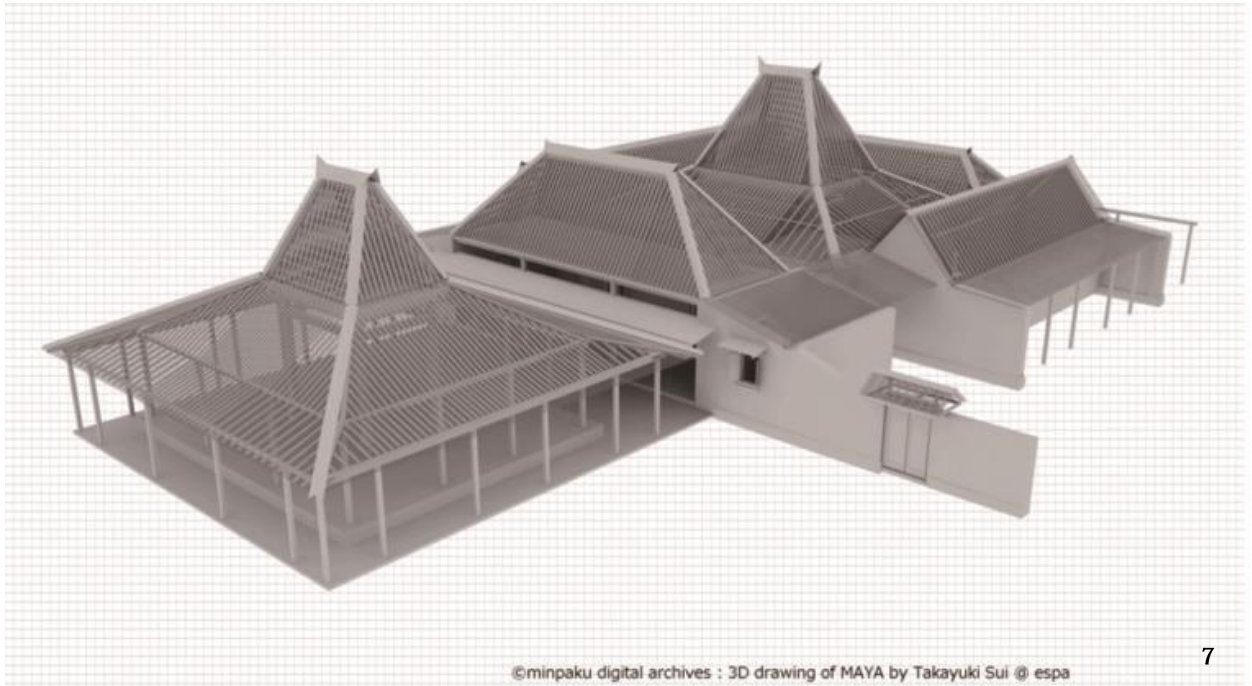
◆大工とその技術

ジョグジャカルタで王宮建設に携わってきた大工パ・ペトルス氏のお話から王宮大工の仕事と技術について解説します。また、インドネシアの慣習住居と共通する空間概念を保持しながらも、外来の大工道具とともにもたらされた技術が建築にどのような影響をあたえたのか、継手仕口模型やデジタルコンテンツ、動画などで紹介します。



◆主な展示





7



8



9



10

- 2.インドネシア・フローレス島リオ族のサオ・リア (大きな家)
- 3.ベトナム・ジャライ省バナ族の男性集会所ニャー・ロン (大きな家)
- 4.インドネシア・スラウェシ島トラジャ族の家屋トンコナン
- 5.マレーシア・サラワク州 (ボルネオ島) ビダユー族の男性集会所バルッ (頭蓋舎)
- 6.インドネシア・スンバワ島ドンゴ族の家屋ウマ
- 7.インドネシア・ジャワ島ジャワ人の家屋オマー3D CAD (提供: 国立民族学博物館)
- 8.インドネシア・ニアス島の首長の家オモ・セプア (大きな家)
- 9.ニアス島家屋模型
- 10.監修者の佐藤浩司氏

※イベントの日時・内容は変更になることがあります。

最新の情報は「南の島の家づくりー東南アジア島嶼部の建築と生活ー」展公式ウェブサイトにてご確認ください。

◆関連イベント

1 「技と心」講演会「南の島の暮らしと建築ー自然とともに生きる術ー」

日 時 2018年10月7日(日) 13:00~16:00
場 所 ラッセホール大会場(神戸市中央区中山手通4-10-8)
講 師 佐藤浩司(国立民族学博物館准教授)
グデ・クリシュナ(バリ人建築家)
阿部光葉(東京工業大学大学院生)
定 員 当日先着200名(申込不要)
参加費 無料

2 ワークショップ「身近な自然で家をつくろう」

日 時 ①2018年10月20日(土) 9:30~12:00、②11月17日(土) 10:00~15:00
場 所 ①10/20:神戸市西区農場(雨天順延)、②11/17:竹中大工道具館館内特設会場
講 師 佐藤浩司(国立民族学博物館准教授)
相良育弥(茅葺職人 くさかんむり代表)
菅野勝友(宮大工 きつねもり代表)
定 員 ①②とも各20名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
※中学生以下は要保護者同伴、抽選の場合は全2日間参加者優先
参加費 無料
申込締切 9月28日(金) 必着

3 「技と心」セミナー[90]「王様の館の造りかたージャワ島の木工技術ー」

日 時 2018年11月17日(土) 13:30~15:00(13:00開場)
場 所 神戸芸術センター(神戸市中央区熊内橋通7-1-13)
講 師 泉田英雄(建築史家、元筑波大学講師)
定 員 80名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
参加費 無料
申込締切 11月2日(金) 必着

【申込方法】

ウェブサイトまたは往復はがきに下記事項をご記入の上お申し込みください。

■ウェブサイト

公式サイト(https://www.dougukan.jp/special_exhibition/minaminoshima_kobe)内よりお申し込みください。

■はがき

〔往信用裏面〕①イベント名(ご希望日時も) ②参加者氏名(フリガナ)
③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤年齢

〔返信用表面〕宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
裏面は未記入のこと。

〔申込み先〕〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。

※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。



◆当館のご案内

日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。

常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。

また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。

シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。

<アクセス>

山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩
約3分

市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約
3分

シティ・ LOOP 「12 新神戸駅前(2F)」下車
徒歩約3分

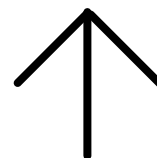
神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」
下車徒歩約2分



TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM



公益財団法人 竹中大工道具館



- ◆画像データ (JPEG) をご提供いたします。下記記入欄にご記入のうえ F A X またはメールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ◆読者プレゼントとして本展図録 5 部または当館招待券ペア (2 枚) 5 組を提供することができます。
- ◆その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

| | | |
|---------------|---------------------------------|---|
| 媒体名 | | |
| 掲載予定日 | | |
| 画像送付先 | 貴社名 | |
| | ご担当者名 | |
| | E-mail | |
| | ご住所 | |
| | 電話・FAX | |
| 画像名 (番号に✓) | <input type="checkbox"/> 1 | 慣習家屋建替工事 (スンバ島) |
| | <input type="checkbox"/> 2 | インドネシア・フローレス島リオ族のサオ・リア (大きな家) |
| | <input type="checkbox"/> 3 | ベトナム・ジャライ省バナ族の男性集会所ニャー・ロン (大きな家) |
| | <input type="checkbox"/> 4 | インドネシア・スラウェシ島トラジャ族の家屋トンコナン |
| | <input type="checkbox"/> 5 | マレーシア・サラワク州 (ボルネオ島) ビダユー族の男性集会所バルッ (頭蓋舎) |
| | <input type="checkbox"/> 6 | インドネシア・スンバワ島ドンゴ族の家屋ウマ |
| | <input type="checkbox"/> 7 | インドネシア・ジャワ島ジャワ人の家屋オマー3D CAD (提供: 国立民族学博物館) |
| | <input type="checkbox"/> 8 | インドネシア・ニアス島の首長の家オモ・セブア (大きな家) |
| | <input type="checkbox"/> 9 | ニアス島家屋模型 |
| | <input type="checkbox"/> 10 | 監修者の佐藤浩司氏 |
| 読者プレゼント | <input type="checkbox"/> 図録 5 部 | or <input type="checkbox"/> 招待券ペア (2 枚) 5 組 |

- ▶画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なされないでください。
- ▶掲載記事・番組内容について情報確認のためにグラ刷り、原稿の段階で下記事務局まで FAX 送信ください。
- ▶お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに 1 部ご寄贈願います。

■ お問い合わせ先

「南の島の家づくりー東南アジア島嶼部の建築と生活ー」展広報事務局 (竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713

E-mail: minaminoshima@dougukan.jp